

さくらだより

感染症ふたたび

病院長 福田 修

この夏は、夏風邪が流行したようです。皆様はいかがでしたか？夏風邪の代表は小児に多いヘルパンギーナと言って、発熱、口内炎を起こすウイルス感染です。ニュースでは、アフリカのエボラ出血熱が流行し、関与した医療関係者にも多くの犠牲者が出ているとのこと。つい先日も問題になったデング熱や日本国内への流入はないですが強毒型新型インフルエンザを含め、様々な新興感染症に常に脅かされているのが実情です。

一方国内に目を向けると、特に冬季のノロウイルス、インフルエンザは確実に発生し、病院においては、院内感染が問題になっています。齋藤記念病院では感染対策委員会を中心に院内感染予防に関して良好な実績を残しました。この対策の重要な骨子の一つに「お見舞いの制限」がありました。冬季、感染の流入路を制限することはほぼ全ての病院で行われていることですが、齋藤記念病院におきましてもお見舞いの皆様に大いにご迷惑をおかけしました。ワクチン接種率も含め、より完全性が求められるのです。残念ながら、くしゃみ、咳、鼻水、嘔吐など体調が悪いのにお見舞いにいらっしゃる方も稀ですがいらっしゃることも事実です。「咳エチケット」などというキャッチコピーが知られるようになりましたが、「お見舞いのマナー」も入院患者さんを守るために、大切にしたいものです。手洗い、うがいの他に、顔も洗う、手を首から上にあげないなどの標準予防策も、今のうちから習慣づけることが大切ですし、今後の流行期も「お見舞いのマナー」をよろしくお願い申し上げます。

病院理念

*私たちは「患者さんに選ばれる病院」「職員が誇りを持って働ける病院」を目指します。

基本方針

- *私たちは自己研鑽に努め、安全で良質な医療を提供します。
- *私たちはコミュニケーションを大切にし優しく説明・対応します。
- *私たちは救急医療からリハビリテーション機能、在宅医療まで安心できる診療体制を充実させます。
- *私たちは医療機能を整備し経営改善に努めます。



ウイルス感染について

～インフルエンザ・ノロウイルス～

感染対策チーム 大平 勝 恵

寒く、乾燥が進むこれからの季節はインフルエンザ・ノロウイルスなど代表する感染症が話題となる時期になります。

インフルエンザは感染者が咳をしてウイルスを飛散し、他の人がそれを口や鼻から体内に吸い込む飛沫感染と、感染者が鼻水などをぬぐった手でドアノブやスイッチに触れ、他の人がそれに触れウイルスが体内に入る接触感染があります。

予防の基本はインフルエンザワクチン接種・外出後の手洗い・うがい・人込みを避ける・外出時マスク着用・室内では適度な湿度を保つことです。

ノロウイルスは近くにいる人が、嘔吐した際に飛び散ったしぶきを飲み込んでしまう飛沫感染と、感染した人の吐物や便で汚染されたウイルスの付着している物に触れた手で、自分の口に触れてしまうことで感染する接触感染があります。非常に感染力が強く周囲の人への流行を阻止することは、なかなか難しい状況です。

予防は石鹸と流水での手洗いが最も大事で、調理を行う前・食事の前・トイレに行った後、便や吐物の処理の後には必ず手を洗うことです。嘔吐物や糞便・汚物が付着したタオル類は、必ずビニール袋を用いて処理します。洗濯する場合も他の衣類と分け、塩素系漂白剤を入れて洗います。汚物を片付けるときは、なるべくビニール手袋・マスクをして塩素系漂白剤を希釈したもので消毒します。感染しても全員が発病するわけではなく、軽い風邪症状で済む人もいるので施設・病院勤務者や調理師は「体調がおかしい」程度でも注意してほしいと思います。

病院受診時はマスクを必ずつけ、他の人にうつさないようにしましょう。患者さんの中には免疫が低下し感染しやすい人も多く、重症化して死亡する人もいます。このような事態を防止するため、感染症の流行期は入院患者さんへの面会制限をすることがあります。また風邪症状や下痢症状のある方・家族にインフルエンザ・ノロウイルスを発症している方の面会は、症状がおさまるまでやめましょう。

感染症に「かからない」「うつさないない」ために家庭や職場でも正しい手洗い・うがい・咳エチケットを行いましょう。

体調を整え抵抗力をつけ、元気にこの冬を乗り越えましょう。



検査室職員紹介

臨床検査技師 上村 利 光

検査室では臨床検査技師3名が検査を行っております。検査室の行っている業務（臨床検査）は大きく検体検査と生理学検査の2つに分けることができます。検体検査は患者さんから採取されたもの（血液、尿、便、その他等）を使って検査するものです。もう一方の生理学検査は直接患者さんに触れ検査する（心電図、聴力、肺機能検査、脳波等）ものです。医師から「コレステロール値が高い」「血糖値が高い」「肝機能が悪いよ」など言われたことがある方もいらっしゃると思いますが、患者さんの血液などを使用し検査しているのが検査室です。

当院の検査室は、病気の診断・治療方針の選択などの一助となるために、新しい知識・技術を取り入れて高度なレベルが保てるように心掛けています。検査の混み具合や検査項目によって長くお待ちいただく場合もありますが、ご理解いただきますようよろしくお願いいたします。

検査に関するご質問等ございましたら、遠慮なくご相談下さい。



竹 田 美 幸

上 村 利 光

桑 原 稔

高校生一日看護師体験事業について

第一病棟 高橋 友 佳

平成26年7月29日に高校生4名の看護師一日体験事業がありました。4名とも将来看護師を目指していることもあり、真剣な眼差しで話を聞いていました。

特に印象に残っている体験が、MRIの磁場体験と手術室の見学だったそうです。医療ドラマで見ているものを実際に体験できた事がよかったと話してくれました。

また、院内見学中、職員が患者さんと笑顔で接し、コミュニケーションをとっていた事も印象



深く残ったそうです。その話を聞いて、自分自身嬉しくもあり、看護師として仕事をしてきてよかったと同時に、齋藤記念病院の職員として誇りを持って仕事をしてきてよかったと思いました。

貴重な体験をさせて頂き、ありがとうございました。



齋藤記念病院 外来医師診察予定

診療科		月	火	水	木	金	土	備考
脳神経外科		福田 修	福田 修	福田 修	小山新弥	福田 修	福田 修	
胸部乳腺外科		鬼頭隆尚	鬼頭隆尚	鬼頭隆尚	鬼頭隆尚	鬼頭隆尚	鬼頭隆尚	
整形・リウマチ科	1診		藤原稔泰	藤原稔泰	藤原稔泰	藤原稔泰		完全予約制
	2診	池田三香		池田三香		我田由紀子		完全予約制
神経内科	1診		田村正人					午前・午後診療14:00まで受付
	2診		小穴康功					第3火曜日のみ
	3診						小野寺 理	第2土曜日のみ

☆外来受付時間 午前8:30～11:30 ☆毎月第3土曜日を休診いたします。

☆診察日等に変更もございますので、電話にてお問い合わせ下さい。

☆胸部乳腺外科、整形・リウマチ科、神経内科は予約制となっております。お電話での予約又は変更等の問い合わせは、月・火・木・金の午後2:00～5:00の間にお願いたします。(☎025-773-5111)

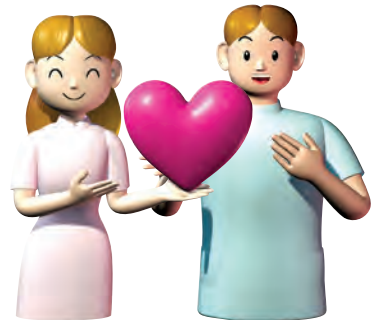
齋藤脳神経外科 外来医師診察予定

診療科	月	火	水	木	金	土	備考
脳神経外科	齋藤有庸	齋藤有庸	齋藤有庸	齋藤有庸	齋藤有庸	第1土曜日 さいとう隆景 第2土曜日 齋藤有庸 第4土曜日 岩本俊彦	
消化器外科 肛門外科	廣田正樹	廣田正樹	廣田正樹	廣田正樹	廣田正樹	廣田正樹	

☆外来受付時間 午前8:30～11:30 ☆午後の診察は行っておりません。

☆毎月第3土曜日を休診いたします。

☆上記時間以外の救急診察は齋藤記念病院にご連絡下さい。



平成26年度休診日(日曜・祝日以外)

10月18日(土) 11月15日(土) 11月25日(火・開院記念日) 12月20日(土)
12月30日(火)～1月3日(土・年末年始) 1月17日(土) 2月21日(土) 3月21日(土)

お知らせ

インフルエンザワクチン
接種しています。

実施期間 平成26年

10月15日～(予定)

インフルエンザを予防するにはワクチン接種が最も有効的です。

接種をご希望の方は、受付窓口にお申し出下さい。(予約不要)

開院記念日のため

11月25日(火)を休診とさせていただきます。

23(祝) 24(振替休日) 25(火)
3連休となりますのでご注意ください。

整形外科藤原医師の診察日が2015年1月より変更になります。

変更前 火・水・木・金曜日

変更後 水・木・金・土曜日

＊ご迷惑をおかけ致しますが、おまちがえの無いようご注意下さい。



医療法人

齋藤記念病院

齋藤記念病院

〒949-6602 新潟県南魚沼市欠之上478番地2

TEL 025-773-5111 FAX 025-773-3024

病床数:118床/一般病棟70床、療養病棟48床

診療科目:脳神経外科、胸部外科、乳腺外科

消化器外科、肛門外科

整形外科・リウマチ科、神経内科

URL <http://www.saito-memorial.com/>

E-mail smh@mars.jstar.ne.jp

齋藤脳神経外科(診療所)

〒949-6603 新潟県南魚沼市川窪1158番地

TEL 025-772-2350 FAX 025-772-7557

診療科目:脳神経外科、神経内科、消化器外科

肛門外科